

コンクリート二次製品用つりクランプ

可変側溝・側溝兼用型
EUIV型

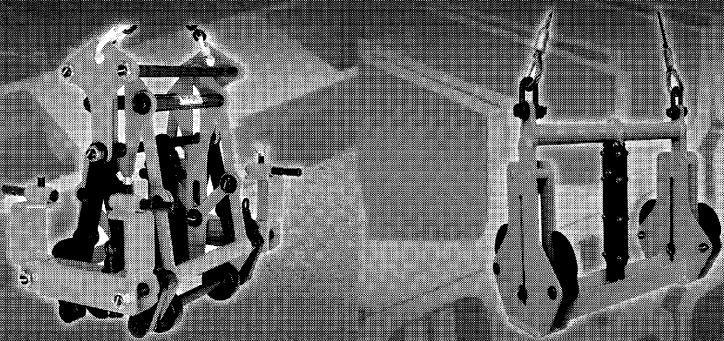
最大使用荷重
1000kg・2000kg

適用U字溝

[1000kg] 250・300・350

[2000kg] 300・350・400

400・450



世界の吊具

イーグル クランプ 株式会社

側溝内つり軽量型
EUIF型

最大使用荷重
600kg・800kg

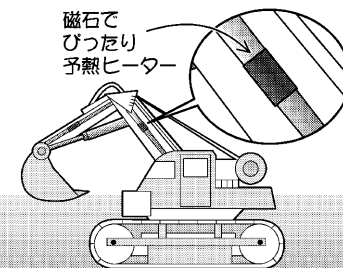
使用可能内幅

[600kg] 220～300mm

[800kg] 310～450mm

ヒーター応用例 Heater Application example

えっ!こんな所に O&Mヒーター



建設機械の
油圧シリンダー凍結防止
ヒーターとして急な寒波に
備えた対策は早めに

サイズも形状も自由自在
・表面温度200℃まで可能です。
・柔軟性があり、軽量タイプです。
・1枚からオーダー承ります。

0120-800-255
TEL (052) 804-3140
FAX (052) 804-3146
https://www.om-heater.jp

建設機械各社が、排ガスや二酸化炭素(CO₂)排出削減を目標とするグリーン・トランスフォーメーション(GX)に対応した製品の開発・投入に注力している。コマツは電動化やハイブリッド、水素エンジンなど全方位での製品開発を進めている。日立建機はバッテリー駆動式ショベルや可搬式充電設備を販売するなど、デジタル変革(DX)と並び、各社が積極的な事業展開を見ている。



水素専焼エンジンを搭載した大型ダンプトラックのコンセプトマシン(コマツ)

GX対応に取り組む

建設機械

国土交通省では建設施工現場における電動建機の普及を促進し、脱炭素化を図るため、2023年10月に「GX建設機械の認定制度に関する規程」を策定。型式認定を受けた建設機械は認定ラベルを付けることができる。また、24年には対象機械の拡大を行っている。認定を受けた機械の導入に補助金を交付する制度も行われている。

このような脱炭素化推進の動きに合わせて、建設機械メーカー各社ではGX関連製品の投入・開発を積極的に進めている。

電動化・HV
コマツはカーボンニュートラル(温室効果ガス排出量実質ゼロ)を達成するための施策として、電動化やハイブリッド、水素エンジンなど全方位での製品開発に注力。電動化建機は20年に第一弾を市場に投入して以降、リチウムイオンバッテリーを搭載した20トンクラスの電動ショベルなどの7機種を投入した。25年には鉱山機械の主力機種である大型タンポトラックHD785に水素専焼エンジンを搭載したコンセプトマシンを開発し、茨城工場(茨城県ひたちなか市)で実証実験を開始。大型タンポトラックに水素エンジンを搭載するのは世界初の試みとなる。実証実験を通じて

脱炭素へ開発・投入積極化

GX認定建機導入に補助金

知見を蓄積し、未来の「水素建機」の開発につなげたい考えだ。

「GX建設機械の認定制度に関する規程」を策定。型式認定を受けた建設機械は認定ラベルを付けることができる。また、24年には対象機械の拡大を行っている。認定を受けた機械の導入に補助金を交付する制度も行われている。

このように脱炭素化推進の動きに合わせて、建設機械メーカー各社ではGX関連製品の投入・開発を積極的に進めている。

水素充填設備
コベルコ建機は神戸製鋼所の高砂製作所(兵庫県高砂市)内に、水素燃料電池シヨベルの高圧水素充填設備を整備した。26年度に国内で行われる実証実験での活用に向けて、同製作所で連続掘削作業などの本格稼働評価を実施し、水素燃料電池シヨベルの現場導入に向けた取り組みを推進する。

本格的な稼働評価には高

圧水素充填と掘削評価が可能な環境が必要となることから、ハイブリッド型水素ガス供給システムなどの水素関連施設が集まる高砂製作所で整備した。そこでの検証の結果、水素燃料電池シヨベルに充填できることを確認した。

環境に配慮
タダノは24年に策定した26年度までの3カ年中期経営計画において「Reaching new heights」新たなステージへ」をスローガンに掲げる。業界のリーディングカンパニーとして、顧客の安全と地球環境に配慮した新たな価値の提供に取り組んでいる。基本戦略の一つである「脱炭素化の加速」に沿い、環境対応製品の拡充を進めている。

23年12月に発売したGX建機として認定されたフル電動ラフテレーンクレーン「EVOLT eGR-250N」は、環境省の「令和6年度水素内燃機関活用による重量車等脱炭素化実証事業」において、水素のみを燃料に用いる「水素専焼エンジン」を搭載した油圧シヨベルを開発し、実際の工事現場での実証試験を行った。同事業では、住友建機の20トンクラス中型油圧シヨベルをベース機として使用し、ピストンやシリンダーヘッドなどを水素専焼に対応した部品に交換することで、ディーゼルエンジンから水素専焼エンジンへの改造を実現した。住友建機では同試験への参加を通じて、建設機械・荷役機械における水素の活用可能性を探っていくという。



5トンクラスのバッテリー駆動式ショベルZX55U-6EBと可搬式充電設備(日立建機)を進めている。

フラットフィールド(神奈川県厚木市)や東京都大学などの4機関で構成するグループは、環境省の「令和6年度水素内燃機関活用による重量車等脱炭素化実証事業」において、水素のみを燃料に用いる「水素専焼エンジン」を搭載した油圧シヨベルを開発し、実際の工事現場での実証試験を行った。同事業では、住友建機の20トンクラス中型油圧シヨベルをベース機として使用し、ピストンやシリンダーヘッドなどを水素専焼に対応した部品に交換することで、ディーゼルエンジンから水素専焼エンジンへの改造を実現した。住友建機では同試験への参加を通じて、建設機械・荷役機械における水素の活用可能性を探っていくという。



フル電動ラフテレーンクレーン「EVOLT eGR-250N」(タダノ)

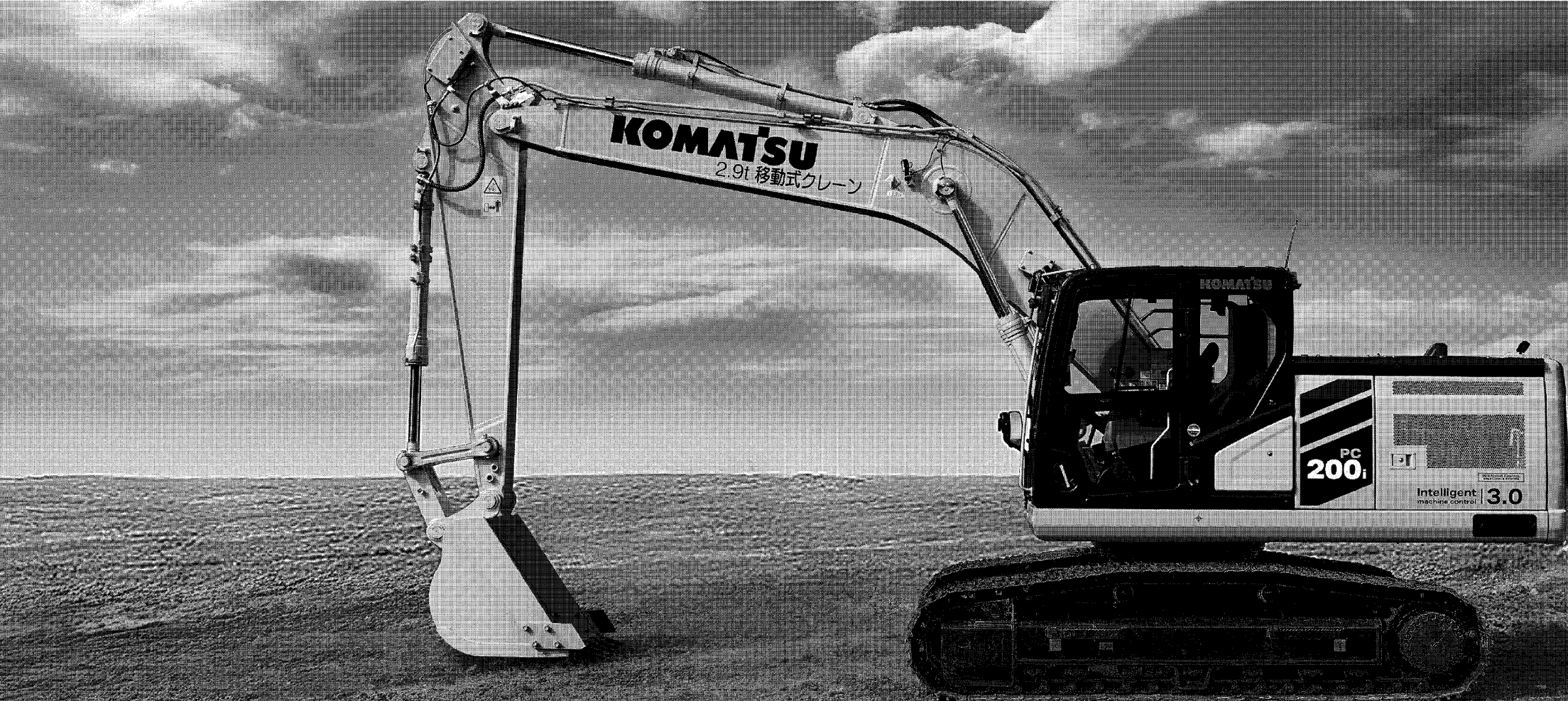
排出枠活用一商品を展開

建設機械レンタル各社もおり、CO₂排出量を削減する建設機械のレンタル製品を投入している。アクテは電動パワーユニットを搭載した古河ユニーク製の移動式クレーンを投入。同ユニット併用で、ディーゼルエンジンと電動モーターの切り替えが容易なため、多様な作業環境に柔軟に対応できる。また電動モーター使用時は排ガスを出さないなど環境への配慮と高い作業効率を実現している。レンタルのニッケンは米国ボブキャット製の電動ショベルで、バケット容量0.1立方メートルの機体を投入。電動ショベルのレンタルは、ボブキャット製の0.03立方メートル機体に続いて2機種目となる。

またこれら建機、レンタル2社は、政府の排出枠取引制度「J-クレジット」を活用した商品を展開。レンタルのニッケンはサステイナブル(東京都渋谷区)と共同で、建設機械レンタルに伴うCO₂排出量を、カーボンプリネンオフセットで実質ゼロにできるサービス「カーボンオフセット付きレンタル」を提供。機械の返却時に使用燃料を報告するだけで、J-クレジットを簡単に活用できる。

アクテは業務用車両に「カーボンクレジット付リース」を導入。経年が長く走行距離も多い業務用車両107台を対象に、環境性能が高い車両への入れ替えと同時にCO₂排出量を相殺。CO₂排出量を年間454トン削減できる。

お客さまとともに
3D 施工を標準に。
新世代油圧ショベル
PC200i-12



現場に、スマートな未来を。

KOMATSU
Creating value together

革新の先駆車。

エコロジーとテクノロジーが融合した
世界初*のフル電動ラフテレーンクレーン登場。 ※当社調べ



特設サイト
公開中!



EVOLT ROUGH TERRAIN CRANE
eGR-250N

株式会社 タダノ

本社/香川県高松市新田町甲34番地 TEL.(087)839-5555(代表)

東京オフィス/東京都千代田区神田錦町2丁目2番地1(KANDA SQUARE 18階) TEL.(03)6811-7295

www.tadano.co.jp

コマツ

コマツの新世代機PC200i-12は土木分野の主力機種である20トクラスの油圧ショベル。運転席のデイスプレー上に設計図面データや自機の位置などが表示される「3Dマシニングガイド」を標準装備している。新開発の電子制御油圧システムと高出力エンジンにより、燃費効率が従来機に比べ20%改善。作動油やフィルター類の交換インターバルの延長などにより、メンテナンスコストも20%削減した。同機種は「2025年度グッドデザイン賞」を受賞。利用者に寄り添った丁寧なデザインが細部にまで徹底されている点が評価された。今年、欧州と米国ですでに発売し、12月には豪州でも発売する予定だ。

タダノ

タダノは業界のリーディングカンパニーとして、多種多様な製品群を取り扱う。極寒のカナダや酷暑の中東など過酷な作業環境下で選ばれている信頼性が同社の強みだ。

主力製品のラフテレーンクレーンをはじめ、オールテレーンクレーン、トラッククレーン、クロウラークレーン(伸縮ブーム式・ラチスブーム式)、車両搭載型クレーン、高所作業車など豊富なラインアップを誇る。今年7月にIHI子会社のIHI運搬機械から運搬システム事業を取得。これによりタワークレーンや港湾クレーンなどの固定式クレーンや、洋上風力分野で活躍が期待されるリングリフトクレーンが新たに加わった。

オーエムヒーター

オーエムヒーターの「O&Mシリコンラバーヒーター」は、低温度から200度Cまで使用できる。シリコンラバーの柔軟性を生かし、被加熱物のあらゆる形状にもフィットする。1枚から発注できるのも強み。

寒冷地では、主力製品の「マグネットタイプ」が各種建設機械の油圧シリンダー部分の凍結防止用に採用され、信頼を得ている。マグネットタイプは他社にない独自製品で、片面にネオジム製のマグネットシートを採用。従来製品に比べ磁力を2倍に向上させた。磁石の付く場所であれば簡単に設置、貼り付けができる。200度C以下の使用環境では、減磁率を従来品比で最大10%以下に抑えた。

イーグルクランプ

イーグルクランプは吊り具専門メーカーとして「作業者の安全を守り、生産の向上に貢献する」を方針に、各種吊り具の研究開発や製造販売、アフターサービスを行う。

同社はコンクリート二次製品用吊りクランプのラインアップを拡充し、好評を得ている。「EUIV型」は可変側溝とU字溝のコンクリート二次製品に兼用できる製品。ピンの差し込みで、可変側溝とU字溝の両方に対応、および内幅の異なるブロックの内つりが可能になっている。「EUIF型」は小型軽量でU字溝の内つりができる。両機種ともに自動着脱装置付きで効率よく作業を行える。製品の詳細については同社ホームページ、もしくは各営業所へ。